

令和4年度第1回地球温暖化対策おおいた市民会議 議事要旨

◆日時:令和4年5月16日(月) 14時~15時30分

場所:大分市役所8階 大会議室

(WEB 参加併用方式)

出席者:委員27人(欠席6人)

:事務局7人

:環境省(講師含む)3人



◆次第

1. 開会

2. 委員及び事務局職員紹介

3. 委員長あいさつ

4. 講演

地域脱炭素に向けた取組について

5. 協議

(1)第8期地球温暖化対策おおいた市民会議令和4年度実施計画

6. 報告

(1)2018年度(平成30年度)大分市の温室効果ガス排出量について

(2)2022大分市地球温暖化対策ガイドブックについて

7. 委員よりお知らせ

8. 閉会

◆会議内容

【講演】

- ・ 環境省 九州地方環境事務所 地域脱炭素創生室 原田 室長補佐より、最新の国の動向や、各種支援策等について、ご講演いただきました。
- ・ 分かりやすく参考になるという感想をいただいております一方で、豊富な内容に対して講演時間が短かったことにより、進捗が速すぎてわかりづらかったという意見もいただきました。
- ・ 大分県の取組に関することや、温室効果ガス森林吸収源対策についての質問がありました。

【協議】

(1)令和4年度の実施計画について、事務局よりご説明いたしました。

- ・ 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受け、延期や中止が相次ぎましたが、今年度は感染拡大防止に配慮しながら、必要に応じ今回のような WEB 併用会議も選択しながら、できるだけ実施する方針を確認しました。

【報告】

(1)2018年度(平成30年度)大分市の温室効果ガス排出量について、事務局より報告いたしました。

- ・ バスや鉄道の利用者減少傾向をうけ、環境対策は経済と両輪でないといけないことから、補助金等

を出すだけでなく電気自動車のバスを市が率先して導入することや、過疎地域でのバスの利用の方法を考えるとといったことを環境対策の中に入れて議論することが大事である、というご意見をいただきました。

- ・ 九州電力の排出係数の推移についてご質問をいただきました。これについては、火力発電量の増加や、原子力発電所の稼働状況などの影響を受けていることが推測される旨、事務局より説明いたしました。
- ・ 運輸部門の報告において、自動車1台あたり排出量が少ないと考えられる電気自動車(EV)や、燃料電池自動車(FCV)の普及状況を把握してはどうかとご意見をいただきました。
- ・ 会議当日に、2017年度に比べて減り幅が大きく、疑義があるために確認中とご報告しました、温室効果ガス排出量のエネルギー転換部門の数値については、正しい数字であったことが確認できました。これにより、2018年度の数値については、会議にて報告していたもので、確定いたしました。
- ・ 2018年度(平成30年度)大分市の温室効果ガス排出量については、大分市の HP を更新し、公開を始めています。

(2)2022大分市地球温暖化対策ガイドブックについて、事務局より報告いたしました。

- ・ 更なる改良へのご意見をいただきました。今年度の普及啓発部会において、議論を深めていただく予定です。

【委員からのお知らせ】

今回は、委員の皆様からのお知らせはありませんでした。